

東京支部

支部長 瀧澤 三郎



東京支部では、平成 19 年 9 月 14 日（金）に同窓会総会および東京支部総会を神田の学士会館にて共同開催いたしました。本支部総会にて、平成 18 年度事業報告および会計報告、平成 19 年度事業計画案および予算案、平成 20 年度支部役員案が承認されました。

平成 20 年度の支部役員は、支部長に中村隆（富士通アクセス株式会社 電昭 46 卒）、副支部長に村上篤道（三菱電機株式会社 通昭 46 卒）が選任されました。なお、昨年度の支部総会にて、これまでの寄付を全て本部に移管することが承認されましたので、これに対応する東京支部運営資金特別寄付会計は、全額本部へ移管する本年度の会計報告が最終報告となりました。

また、東京支部では、従来仙台で開催してきた産官学フォーラムを一昨年より「東北大学電気・情報 東京フォーラム」として東京地区で隔年にて開催を始めた「東京フォーラム 2007」（平成 19 年 11 月 14 日開催）を同窓会本部とともに後援いたしました。この「東京フォーラム 2007」は、東北大学 100 周年記念事業の一環として、「ユニバーサルコミュニケーション時代を拓く研究最前線」の基調テーマの下、学内外の著名人による講演会、東北大学電気・情報系のほぼ全ての 80 研究室による最新・最先端の研究成果発表、専門家向けのテーマ別先端技術セミナーやディスカッションと懇親の集いなどを行い、多くの方々にお集まり頂き大盛況とすることができました。これも、支部の皆様のお力添えの賜物と思っております。

東京支部は、同窓会本部と年 3 回の合同役員会を開催し、同窓会の運営などを審議しております。これからも同窓会本部との連携を継続的に強化して、より良い同窓会へと進化させて参る所存ですので、引き続き同窓会の皆様方のご支援をお願いいたします。

東海支部

支部長 池田 哲夫



東海支部では、去る 7 月 21 日（土）に第 31 回「東北大学電気系同窓会東海支部総会」を岐阜市内の岐阜キャッスルインにて開催しました。

仙台からのご来賓として、電気・通信工学専攻の安達文幸先生をお迎えした本総会は、土曜日にもかかわらず支部会員 46 名の出席を得て、盛大な会合となりました。

総会に先立ち、岐阜大学数理デザイン工学科の若松謙一先生から、「宇宙科学の最近の話題」と題した講演が行なわれました。本講演では、望遠鏡の発見からダークエネルギーなど現在の最先端の研究に至るまでの人類の宇宙への挑戦の歴史について、壮大な話を大変分かりやすく紹介頂きました。

総会は、常任幹事の（株）デンソー前野剛氏（通信昭 47）の開会の辞で始まり、中部電力の野嶋孝様（電気昭 39）の乾杯の音頭で宴に移りました。ご来賓の安達先生からは、国立大学法人としての東北大学の近況について、

オープンキャンパスなど、より開かれた大学への変革などについてご紹介いただき、出席者の多くがその変化の大きさに驚いていました。続いて、幹事の中村隆先生（電通博昭 52）による岐阜大学の紹介、（株）デンソーの福本晴継氏（電子昭 58）による安全運転支援システムの一つであるインテリジェントウォーニングシステムの紹介があり、各々興味深く聞くことができました。

その後、各大学・企業の代表の方々から近況等を交えたスピーチを頂きました。歓談の後、東海支部総会に関するアンケートのまとめについて、常任幹事の愛知工業大学森正和先生（電子昭 48）から報告いただきました。講演会とのセットがよい、企業・学校の枠を超えた人脈を期待しているなど、総会に期待しているご意見が多数あることを紹介いただきました。次回幹事となるトヨタ自動車（株）を代表して大沼豊氏（電気昭 61）並びに名古屋大学の藤巻朗先生（電子昭 57）より次回総会への決意表明をして頂き、盛会を誓い合いました。そして、恒例の「青葉萌ゆる」大合唱の後、森正和先生による閉会の辞で締めくくりました。

最後に、母校および同窓会本部の発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも一層のご指導をお願いする次第です。

関西支部

支部長 沼崎 正



07 年夏は全国的に例年にない酷暑で、大阪の真夏日も 7 月末から 9 月上旬まで連続 41 日間の連続 30℃以上の最高気温でした。この酷暑の中 9 月 8 日（土）午前 11 時から大阪城公園

に隣接したホテルニューオータニ大阪で「東北大学 100 周年大阪祝賀会」が盛大に開催されました。参加者は全学の OB、OG 合計 300 名余でした。まず記念講演として前国際日本文化センター所長の山折哲夫氏により宮沢賢治に関してその思想、人物像の分析など興味あるお話があり、55 分の長時間でしたが大変面白く拝聴しました。その後の 100 周年記念式典の報告では井上総長のご挨拶、西澤潤一首都大学学長のご祝辞に続いて、企業を代表して松下電器産業役員の福島氏（電気情報系 OB）